



## 第10回パッションフルーツ品評会の審査結果！

6月10日に JA 東京島しょ小笠原支店主催の「第10回パッションフルーツ品評会」が開催されました。審査は、小笠原村役場産業観光課、小笠原支庁産業課、亜熱帯農業センターの職員で行いました。

今年のパッションフルーツ栽培は、定植時期となる秋から生育期の冬・春にかけて例年より温暖となり、順調に生育しました。しかし、5月からの長雨の日照不足により果実の着色不良や疫病の発生が懸念されておりましたが、品評会には優れた果実が出品されました。今年は、出荷箱(1.5kg以上)部門のみで審査を行い、8点の出品がありました。審査のポイントは、①大きさ、②色のり、③大きさと色のそろい、④キズの有無、⑤額やめしべの残痕の有無、⑥荷姿などです。出品された8点はどれもが大きな果実の秀品が

そろい、審査に苦労しました。その中でも全ての条件を満たした藤谷農園さん(母島)が金賞を受賞しました。銀賞は色のりのわずかな差で比企農園さん(母島)、銅賞は父島から唯一の出品で、大きさと色のそろいで高評価を得た友野農園、審査員特別賞は松本均さん(母島)となりました。



写真1 金賞の藤谷農園のパッションフルーツ

今後とも小笠原農業の振興のために本品評会の開催に協力し、生産者の皆様とともに栽培技術の向上に努めていきます。〈宗〉

## 父島返還祭 ～パッションの即売&重さ当てクイズ～

6月26日に父島返還祭が開催されました。一昨年まで、産業祭～パッション祭～を単独で開催して来ましたが、昨年に続き、返還祭と合同で行いました。当日は、パッショ



写真2

重さ当てクイズ当選！

ンの即売会、小笠原産青果物や水産加工品が満載の重さ当てクイズ(写真2)、農業センターの研究結果パネルや小笠原未導入で沖縄県や鹿児島県の主力品種の「サマークイーン」の果実や鉢の展示を行いました。〈宗〉

### 土壌診断のお知らせ

農家を対象に、7月に畑の土壌診断を行います。詳細は、農協を通じて別途お知らせいたします。〈営農研修所 佐藤〉

## ～ パッションフルーツの挿木の季節になりました ～

長雨が終わるとパッションフルーツの挿木の季節になります。来年の栽培計画を立て、秋の定植に向けて、苗作りをスタートさせましょう。

**【方法】**①太い茎を選び、挿し穂にします。②芽がしっかりしている部分を選びます。③葉は蒸発散防止のために 1/4 サイズに切ります。④花芽やつるは切除します。⑤茎の下側の先端を両側から鋭い刃物でつぶさないように切ります。⑥挿し床となる土は透水性のよいものがお勧めですが、赤土でもかまいません。十分に湿らせた土に棒で穴を開けてから挿してください。⑦直射日光を避け、適度に水をあげてください。高温を嫌うので直接、コンクリートやアスファルトの上に置かないでください。⑧芽が伸びてきたら、鉢上

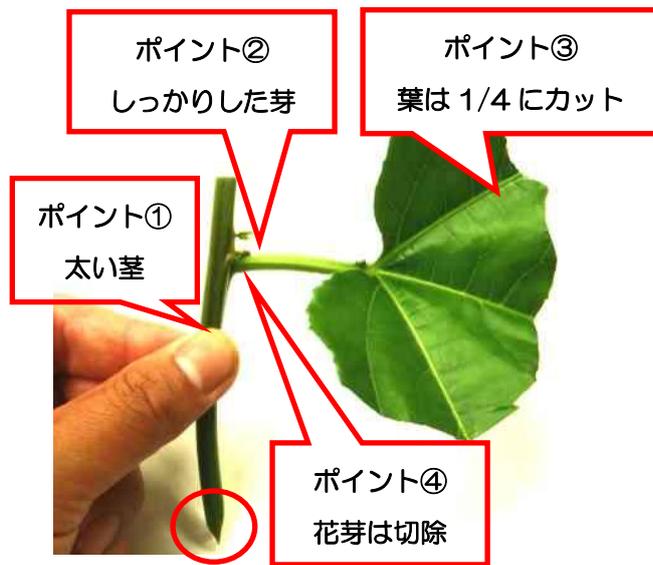


写真3 パッションの挿木

げをしてください。条件がよいと8～9割りが発根します。鉢上げをしたら、葉色や茎の太さ等を観察しながら適度に肥料をあげてください。 < 宗 >

## ～ パッションフルーツ東アジアウイルスの予防 ～

国内のパッションフルーツ産地の中には「パッションフルーツ東アジアウイルス病」が発生し、大きな被害が出ている地域があります。現在、小笠原では未発生ですが、今後、小笠原のパッションフルーツを守っていくには、病害の侵入を防ぐ必要があります。

### 1. 症状

「パッションフルーツ東アジアウイルス（旧名ウッディネスウイルス）」の感染により、花の奇形、葉にモザイク様の症状が発生し、果実にも果皮の木質化が起こり奇形となるため、商品価値がなくなります。

### 2. 感染経路

剪定ばさみ、媒介昆虫（アブラムシ類）によって健全株に感染します。また、感染した親木から育苗した苗にも感染します。

### 3. 侵入防止の対策

健全な親木から挿し穂を採取して、苗木を育成するようにしましょう。また、外部からの感染株が入らないように注意する必要があります。そのためには新品種などを導入する際は信用の置ける種苗会社からウイルスフリー苗を購入するように心がけましょう。

< 近藤 >



写真4 ウイルスによる果実の奇形  
(写真提供：鹿児島大学農学部)

# ～ トマトの品種比較結果について ～



小笠原のトマトは、パッションフルーツに次ぐ主要な農作物です。小笠原の気候に合った有望品種を探すために、ミニトマトと中玉トマトの品種比較試験を行いました。用いた品種はミニトマトが「小桃」「甘っこ」「ネネ」、中玉トマトは「鈴姫」「フルティカ」「シンデイスweet」です。

## 1. ミニトマト

総収量では「小桃」が最も収量が多かったものの、裂果と尻腐れが多かったため、上物果収量では「甘っこ」が優れていました(表1,2)。

1～4月の平均糖度は「甘っこ」>「小桃」>「ネネ」の順番になりました(表3)。

果重は「小桃」>「甘っこ」>「ネネ」の順番になりました(図1)。

## 2. 中玉トマト

総収量および上物果収量で「フルティカ」が最も優れていました(表1)。

平均糖度は「シンデイスweet」>「鈴姫」「フルティカ」の順番になりました(表3)。

果重は「鈴姫」「フルティカ」>「シンデイスweet」の順番になりました(図1)。

## 3. まとめ

ミニトマトでは、上物果率と糖度から現在の主力品種である「甘っこ」が優れていました。中玉トマトでは、「鈴姫」に比べ「フルティカ」「シンデイスweet」がやや良い結果となりました。

今年度、農業センターでは、日本各地で被害が出ている黄化葉巻病に対する耐性品種を導入し、品種比較試験を行う予定です。

<馬場>

表1 各品種の収量 (180株/a)

		総収量		
		(kg)	個数	重量(kg)
(ミニ)	小桃	798	23,417	431
	甘っこ	723	47,411	596
	ネネ	691	36,827	359
(中玉)	鈴姫	1,118	19,569	669
	フルティカ	1,350	27,307	943
	シンデイスweet	1,054	36,917	881

表2 上物果率と下物果の内訳

	上物果率 (%)	下物果の内訳 (%)				
		裂果	キズ	尻腐れ	その他	
(ミニ)	小桃	52.6	23.7	4.6	16.2	2.9
	甘っこ	80.0	13.3	3.8	0.1	2.8
	ネネ	48.5	40.1	4.2	0.2	7.0
(中玉)	鈴姫	58.8	29.9	4.5	2.8	4.0
	フルティカ	70.5	12.2	10.2	1.3	5.9
	シンデイスweet	84.1	7.3	5.1	1.4	2.2

表3 糖度の推移 (Brix%)

	1月	2月	3月	4月	平均	
(ミニ)	小桃	10.2	10.9	10.5	9.3	10.2
	甘っこ	10.4	11.4	10.6	9.4	10.4
	ネネ	10.2	10.5	9.8	8.7	9.8
(中玉)	鈴姫	9.0	9.7	9.2	7.9	9.0
	フルティカ	8.4	9.8	9.3	8.0	8.9
	シンデイスweet	8.9	10.1	9.8	8.8	9.4

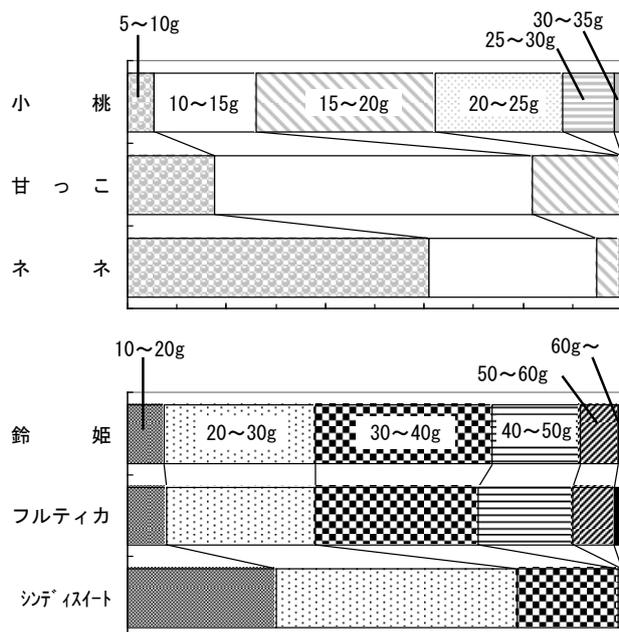


図1 果重別の上物果構成割合 (%)

## ～ ミカンコミバエ根絶から四半世紀 ～

### 1. 小笠原諸島への侵入と根絶

小笠原諸島のミカンコミバエ（以下、ミバエ）は、大正時代にサイパン島から果実とともに父島に持ち込まれたと言われており、戦前に父島と母島で発生が確認されていました。昭和43年に日本返還後、都の調査で聳島、父島、母島列島にミバエが確認されました。昭和44年から50年にかけて、放射線による不妊虫の大量放飼法による防除が始まり、昭和59年に小笠原諸島全域からミバエ根絶が確認されました。

### 2. 再侵入警戒調査

**トラップ調査：**ミバエ生息調査のため、誘引殺虫剤を入れたスタイナー型トラップを聳島列島4ヶ所・父島列島28ヶ所・母島列島18ヶ所に設置し、月に1回、ミバエの捕獲の確認を行っています。また、硫黄島・南鳥島でも、3年に1回、実施しています。現在のところ、ミバエは捕獲されていません。



写真5 母島列島向島でのトラップ交換

### 果実分解調査：

ミバエの寄生植物の果実を採取し、寄生の有無を確認しています。現在のところ、累計1万個の果実の調査を行っていますが、ミバエの寄生は



写真6 果実の分解調査

確認されていません。 <産業課 瀬掘>

## ～ 侵入警戒病害虫「カンキツグリーニング病」～

「カンキツグリーニング病」は世界中のカンキツで問題となっている病害で、現在、国内では沖縄県、鹿児島県での発生が確認されています。小笠原での発生は見られませんが、今後、最も侵入を警戒する必要がある病害虫のひとつです。

### 1. 症状

葉に黄色い斑点が生じ、果実は成熟しても緑色が残ります。葉は要素欠乏に似た黄化症状が発生し、病状が進行するとともに株が衰弱して最終的に枯死します。

### 2. 病原菌

病原性の細菌（*Candidatus Liberibacter asiaticus*）がカンキツに感染することによって発病します。

### 3. 感染経路

媒介昆虫ミカンキジラミの加害による感染、接木による感染が知られています。

### 4. 侵入防止の対策

病原菌を保毒する苗木やミカンキジラミが小笠原に侵入することを防ぐことが大切です。そのためには、信用の置ける種苗会社から苗木を購入するように心がけるようにしましょう。 <近藤>